局橋藏相を問責

の衆議院本會議

拉二十三日出 拉河、皖東、

ふの貴族院

議會愈よけふ 國策決議案で掉尾の論戦展開 會期延長せず終幕か 詰

政友の國策決議案 けふ衆議院本會議に提出

外第三見るべきものなし、政府 右決議す、 大領立しその實現た期すべる。 大領立しその實現た期すべる。 大領立しその實現た期すべる。 大領立しその實現た期すでもの多きに抱い た確立する事 、日鴻經清提携の方針を確立し 見るべきものな 、日鴻經清提携の方針を確立し 見るべきものな と記念がにた記を項に関する事 、日鴻經清提携の方針を確立し 見るべきものな と記念がになって速かに見るできるの。 を構成が金融に関する事

國賓待遇の

聖旨を拜し恐懼

特使のメツセージ

満鐵監理官の使命

重役會議に努めて出席

を藤氏 砂膚は速に中小商工 業振興の劉策を樹つべし 業振興の劉策を樹つべし 修聘特使國賓 府提出)**宗議院〈送附**

鄭特使の 感想發表

屋根を満ちと消げり

三宅前法制局長談

帰洲國官吏には 壓力と熱が必要

群衆數萬歡迎萬紫

氏(大連釋長)同上奥

「なるほどれっちないつ」

な芝居の幕切



ばいかる丸二十

概に、滅がいくほも流れてゐた。

老人は、頭を掘にすりつけた。

捕べて見れば(八)

目されてゐる

湯爾和氏

突如渡日

具類魚で全治

ピン使用で生命を

賜謁の光榮

日

郷軍代表に

野歌の世野に歌した、在郷町人会 東下、柳庭様、大知海様以下軍事 東下、柳庭様、大知海様以下軍事 東下、柳庭様、大知海様以下軍事 東京、柳庭様、大知海様以下軍事 東京、柳庭様、大知海様以下軍事

の決定を見、極々なる素人要素に

学館及び中等程度の全部変響をは「工具、大連商業、大連女子酸素の一郎年及び昨年もて南新工業数性」ならなかつたのであるが、本年は一

音の雪頻りに降りて

止みにけり

國産ア **純粹アルミナを製出**

『鶴首』に酬え う成功 ニユー 4

代天気子報

各地温度(二十五 各地温度(二十五

帝都社交機關に 新京クラブ 解氷期から着工する 職中国刑事が開起さなりて来報となりて お縄を頂戴す

事さなった

塩化コム塗料

U

の際立は縦て

三月二十六日より二十八日迄 三日 間 春から夏への御装身用品ウンと見切つて



大連市浪速雪遊城等角

L

変刈特軍の思遺 つ多い。

る監察にあった歌

春に浮かされ

藝者の家出

飛行機に乗る所をストツブ

ころ市内連像
・経化・カニ十五日専新五時中期水
・経代・カニ十五日専新五時中期水
・ないは、一大神子橋にかり込んでゐると他の
・大神子橋にかり込んでゐると他の
・大神子橋にかり込んでゐると他の

兩中將の歡送宴に

(=)

日 明明版 一変が大様は二十三 本事したが丁一本事したが丁

ニラは第一のロスアンジ

ヤ確定的

の参加は

選手よ、之に備

よ

バックル製料

森洋行

日六十二月三年九和昭

ニラは第二の

ロスアンゼルスなり各選手睹君よ、他く之に備へよ

を間隔は好物しその實現は最早確定的なりと信ず、二十八日マニラ養図別三日の総権を示す人間があった

出場が成立すれば在個日本人は希別屋屋手に割し奥本日本選手に到すると同様の特能なするに食見一致した候様である 出場が推利あり

東京二十五日表園通ご比較における極東大食園食食廊には比高からはベルガス食は 中立候原際を保つやう観念する見込である、満州機能欠保田当事は二十三日要明査を要 中立候原際を保つやう観念する見込である、満州機能欠保田当事は二十三日要明査を要 中立候原際を保つやう観念する見込である、満州機能欠保田当事は二十三日要明査を要

四忠靈塔建設に

麗はしの淨財

龍る情績々集まる

二十四日重砂酸ケ脱・耐酸市の総・経域の報散地に解けるや戦日第七十五日第3 液態では、「ハルビン二十五日登園通」耐酸

春の陽も朗かに

滅鐵が二萬圓

義捐金

旅順市見舞電

安蔵特殊が不識に思いは所述者を意識も明瞭だが食事はまだ賞分駄を蔵特殊が不識に思いは所述者を意識も明瞭だが食事はまだ賞分駄をした。 製魚船で開源の夫人も昨夜一日贈

武德會大演武會

試合プログラム決定

員入選者發表

職 道 部 營

昭和九年三月二十五日 昭和九年度衛生等に就き承合せらるべた 一昭和九年度汚物変却 一昭和九年度汚物変却

役

請負逐賣却入札

今年は惠まれた卒業生達

大半は既に決定濟

力だて記点線網網 は

② 三河屋 (ē点点)

待望久しき暖新建築用塗料

酸・耐油・耐アカッ・熱・不燃性・耐水性・

業 課

至三月三十一日 浪速野 公

野好評の岩倉特製 1 プスペピランリー





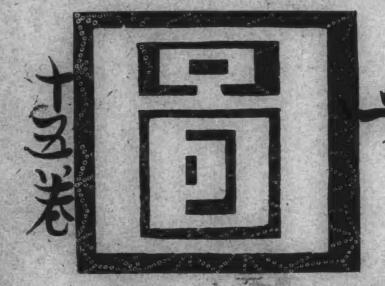
演主郎次傳內河大

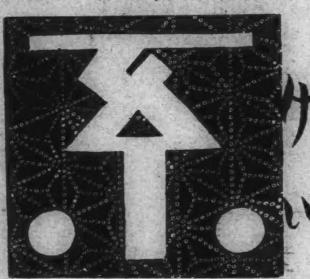


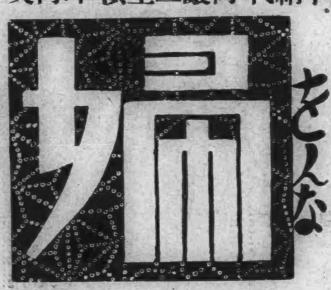


腎臓病に王を柔毛 日本語 京

ーキート回一第督監亭芳村野·作原氏花鏡泉星巨の壇文治明·畵映藝文作特超期春田蒲 演 共・記述書 子滿川吉·子蝶田飯·子絹水若·代君塚大·子美內坪·演主二讓岡·代絹中田







だ卷繪大の麗壯華豪き無例比に他二無對絕っ放が田蒲座王の劇代現·ーキート·ルーオ けけり封品たく土支手をしての事にされの云華百しマ祭馳たしひ優撮クひな神「下しせ切でトメ重援!頂「皆豪監なれ程「ふ撮バてイ氣走山く思が影う浮新境婦さくひです」ガ深をでいの様華督るた大婦ニ影!トク分に海、ひ穂でイベ派内系いとどす。キホの順再た賞か版がでか掛系ユをセー三を大の山の出、マるのの園まおう。いーン意ふびの讃ら、無せとり園!しンキ個出浮珍と扮で蒲ツに舞場しせつぞ初よ處を集べ以をのヤ沈撃うおに「スたトーをしれ味積裝各田クの臺、湯。め7日(女糧物く上ト言ン丁映。解撮がでとの効使てのをまよ自男ス劇をデュルンよく作つ凄撲の「葉ヤ花書芳り影どこ。・秦杲用、太保れる思女のの思艶

演 共・子菊岡花・耶靖賀志・明光南・耶太好東坂 「開展が開奇小情人なか量經情での俟相とかついて美!物族股のリ振方久が即太好」のものそ明明 督監六哲星鋭新!色脚作原一眞川柳・品作鴨下

錢拾五下階·切封日六廿







を通じて を通じる をがった。



五日養國通】衆議院本五日養國通】衆議院本

東京特電二十五日投 米崎院の決策を貢館に職和と年度 決策の承認に際し近来可能政治の 決策の承認に際し近来可能政治の をして左の転を接に高端の書館報名と

ら昔のこさだか

にして可取った

主旨は「一九三五年の非常時を前は は本日連合の所感さ或称今後の連路に顕 し壁明書を公表する模様で、その と壁明書を公表する模様で、その を しいでは、 とののでは、 とのでは、 とのでは、

ふ各方面に赴日

特使と邂逅 戸在住の田中

るのである

口佐倉寛次教授□影神吉平壽師□江町東男講師

衰盡阪本牙城

族院本會議

歌族院本會響は午後十一時十分等 大順四を開き 一、衆業院議員選場法中改正法語 一、衆業院議員選場法中改正法語

選舉法案可決

島鰤之

金事を注意し

衆議院の決算委員會

夏長報告通り

追補助法中改正法 出衆議院送附) 工

治維法案握潰し

啊院協議會において は 連選選明博士が珍じく登壇し和派 神に語するその趣蕾を練けて議場 では を傾踪させた

議會後の政局 内閣の補強工作は多難

◆ 大國經濟政策の變色:清澤 洲 ◆ 満倉提出三十二法律案の法 ※ 京新法律案字引 議會提出三十二法律案の法

協議會案を可

所 行 饕

費員通事第六十五議會は政府提出法案五十依中治安維持法案、出版法案の二案を除き四十八体を可決、深度に入り終了二

感したる法律窓は十八代に塗したが、夫々可否決定し食験延長の必要あてはゐるが、窓前の心大薬糞が成立した事を始めさし、五十代に及っ、破職に波騰を重れた築六十五議會は愈々本日を以て終了する事さな

を説し苦しい反野論を述べたので ですり突然を受けれるした網線を ですり突然を受けれるした網線を ですり突然を受けれるした網線を でするできない。

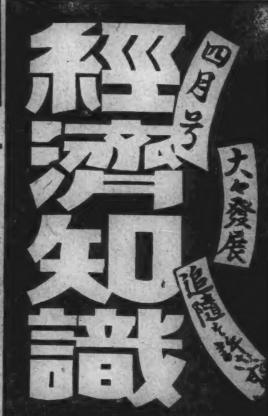
古氏(政)講談しごさに

目紀頽廢に關

長の報告

し並に第六十五職會は閉

妥協內容



安徽でも一転の可能性もなども関係であった人物であり、その物態の極本能振動しながらの物気は、供影動等は曲米、終なる態度を売しながらの物気は、供影動等は曲米、終なる態度を売しながらなった。

東 業生中より優等生十四名な近く日 業主中より優等生十四名な近く日

優等卒業生日本留學

| 工工日襲] 新滿洲國 等生に難し聴民政部大臣から職書 | での第一様に立つ 及び歌品を提集して後、総民政部 | 大臣の皆示、長尾校長の訓示、来 | 大臣の皆示、長尾校長の訓示、来

警察學校卒業式

日米親善强調に

那側の狼狽

日

が、六百萬國の資本をもつて国線が、六百萬國の資本をもつて国線

工業土地貨幣は既に最初の計畫で

へ思ひ切

對滿政策轉換を斷行 ・米國一石二鳥策 玖馬に銀融通 在滿官憲の對立を緩和

本日右銀行を通じて差離り一千萬 を以て黙キューパ金融の途を載せ しむる事さしたがキューパ鉄市は しむる事さしたがキューパ鉄市は

印に觸手 ランカシャ蘭

質易吹養業を提出する

奉天新工場地帶

課 稅 問 題 折 衝

日滿兩當局の間に

ランカシャ総製版代表は二十四日 ◆ジャパン、ヤーパン、ジャボーン等の報呼を押して報知 香な髪和の神代以来呼びなせる 香な髪和の神代以来呼びなせる ボングさ呼ぶ運動の幾つたこさ は非常時ニッボンにふさはしき

NOAKW

なからうか、戦明

の航空機の

にこの例は世 なる軍部階局者の一巻を傾はし

戦、要受信局の

られたきものでは

【上海二十三日養國通】殿田外様 こ米ペル関移民官さの間に交換さ れたメツセージは日米間の暗霊を 一滞せるものさして世界に多大の

決定

支那紙論評

輸組聯合會

地方費豫算

關東廳の

メッセージ交換影響

外交部の見解

・ 大工に棚大な先輩を戦後して事は支那 人士に棚大な先輩を戦後した事は支那 人士に棚大な先輩を戦後した事は支那 選に黙ら他力本臓に救血せる支那-とが一掃されるだらうさの新郎様 が一掃されるだらうさの新郎様

政治戦支配力は、南京政府の動き スの両南各省に對する經濟能があ スの両南各省に對する經濟能があ は西南間壁の今後の排巻に極めて カ強い作用を有するものである事 力強い作用を有するものである事 ては必ずしも現在の西南常居には

中央に對する反綴を誘導を変すのみである。

解代母には城ずや職い拠心さ、深 れな解説すべく差離をふり上げた した可南間駆解拠の成否は彩敷 が石直窓の標準な部隊が十個即以 質職整省には十九路軍の解決後継

(株常園主義の庇護の下にあり、同 の東にせよ、東欧にせよ、 殿市に をよ、これ等手者の地方歌府は実

れなかつた彼

西南龍野熊池は柳秋さまでは行か 鬼谷屋に内定してゐるさの事である。 郷で石が西野藍町の前便は一般野野 の御殿によって部屋の駅間はあり かられば

表の二個日

新五·新

振替八〇王

友社

作つた女兒屋

を一目でわかる表にしたもので、若いお母様方に非出産からお誕生までの一年間の赤ちやんの發育狀態 常な大評判です。此の表一枚があれば大安心です。を一目でわかる表にしたもので、若いお母様方に

の反気を意となる。 のお守の上手な仕

御入學には

3

標準型女學生用水兵服



鎮痛新剤

ふしぶしの痛みにかぜねつづつう



茶喫 ノミド • 連

向婦人子供服地新着

***滿毛百貨店分店**

大連市信濃町(漢連町電停削)



対象カストン 時実計用 時計ロックストン メイフォード ハフィス



** 3 日

西西

組

一 二 五 名 名 名



マクラン録り







サッボロビール。清 **菊正宗**



嶄新なる柄

天津名産

(3)

する所何卒御下

之程を御願申

上ます・

服洋屋島 店 売 販 製 既 隣場劇連大町被若 店 支





旅行用スプリングドレス・婦人帽子

二回九

1

特價女孝生セーラ

流行の魁と

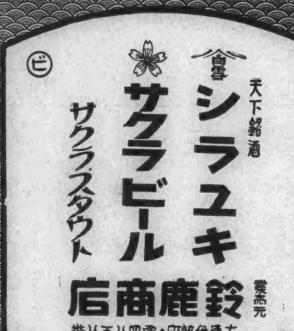
颯爽たる洋装の春













1 4 1

匪賊に襲はる

十名及が張者力能は二十四日早朝 め元并作権に外類人二名、自製館 め元并作権に外類人二名、自製館

江橋鐵橋下で發見

六十
سの
巨大な
もの

煉瓦組合設立

壇へ

9

はそこ生一の氏木道 、のもるな奇數もりよ歌小 圏でつよに等友演・親近のそ今

3

5

H 10

。史雕 の才天はのもろれさ り 篇悼追五十三木直

道憶の

直

議會結論

震戦の效

从果阿部真之 夜宮澤俊

。話の

治氏。足跡

新ラ財礼

デ界會 オ 月月

鐵嶺日語學堂













0

南藤田山

女

麥記

二月三

日曜金はンームネホ

能太健康・……かるす際活は手運水日 後 項 横……史 傲 感 殿 珠 町 南千三野小……今大球野 果等中抜張國全

一本間テエラバ界政(非

教者產漫

金が足りずに

奉天で建築計畫

ちん編一際にかけて新穀されるの 大土地界の麒盛さ共に奉天市民は をであらう

十四記者 洋一時母月 田一野か

·物間小·局藥·店貨百名著

企业 创建自崇早传播图 色色色色色色色

料點化代近の力魅と美

阪大・京東 館本ルーメ鳥風社會式株 元复養本日

ピード化粧料 - コミーが個のスプラームも自樹

作

慵

ル製念

の本文が三

2

痒い所へ手が届く様な親切な**圖解**

和服裁縫なら何から何迄

切誰にもスグ出來るのが大評判

模範的全集

らずの獨習書!

婦

隔しい大内容

玆に詳しくはトテモお知らせ出來ません。大急ぎ

春。流行衣裳。服飾品贈呈。大懸賞

であり

性の資格を完成 空水治器

品粧化

ム、ジネア県若、黒ノ水、モ

の美流粉、ホワイトハニー、帯コ 沿線の御方は短話六六〇六番へ市内の御方は短話六六〇六番へ 大連市但馬町六番地 寺

局

安富敏明

科 ¥ **葡萄21819** 掛

OC-4 總代理店 鳥羽洋行 新京·哈爾爾 東重電機株式普及 製造元



兵 商 店

「画網、モルヒネ、解片よの他Manapareの恐怖は今更単新しく影明の要なく一度モルヒネ其他鹽類中毒治、療劑の最高權威

【文献進呈】

元 田 邊 五 元 順天堂醫化 學研究所

り、骨種の豪を著しく恢復し 更に回を重ねるに從ひ、愉快自然都に減し、何季の副作用なく 禁動症状の最現を長時間抑制し 全旅増進、の社材に依り費用のモルヒネ、バントボン、コカイン、ヘロイン等権戦なり」との貢献を受く 諸賢の追属を乞ひ多大の賞康を博し「薬」の慣用と稱して過言に非らず 價格の服なる事は患者の最も所建せらるる所

詳細なる文献送呈

変は送料不要 変は送料不要

大阪北渡一丁目參天堂株式會社學術部

(東三號(朱復邦用)=一人の総人 二円五十支 = 五四の総人 十円寸美東 二號(朱敷郑用)=一人の総人 二円八十支 = 五四の総人 八円十実 東 二號(有數郑用)=一人の総人 二円八十支 = 五四の総人 八円十実 せられたいのである。

他の通り懸賞豪養致します書って和解答してんへ御紹介すると共に新春の御慰みとして左用ある著明な會社、商店で御座います、皆さ此頁にある廣告は何れる大連市内で代表的信

7

店支連大利辻



9













フォード自動車

洲總代理店

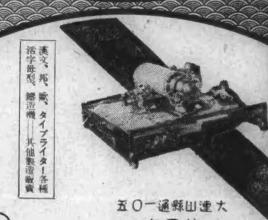
油醬又河



番O三九四·六六四四話電



16



曲四四八二二話電 店支連大

















事に響手嫌くも五月被悩まで 事に響手嫌くも五月被悩まで

が市街の緑化計畫

巷に花壇を設け

学の職隊僚を探持して、二十五日 人リ少郎の麦直には監督に登録と情行部隊起に部下を引率し名 たが、郷田縣最の製内ではて、重要大特置二十五日皇 佐梭〇座 座標の個人な歓迎神に頭遊餐

次決定

新京飛行場にて暴行

部下の將士と凱旋

黒い顔に嬉しい色

日

人」編唱の女史) と平間氏 と平間氏女と平間氏女と平間氏女

浦

R高峰 南部たかね女史を迎へ

本社ら共同の催

同戸敷・・・二六・六五七曜災人口・・・一三七・二八四

限は満一所警察署憲兵分隊の調査を綜合す一

△罹災人口十三萬七千二百八十一人罹災人口十三萬七千二百八十

は能して女史の銀網を市民能石に 共に一好「オペラさ民語の女」を 観覚美質及大連高観社覧供集都さ 函館の被害調査

火保金支拂

名の

春の

支摘な開始する形

名の囚人なる。非常手の国人なる。 **登回通**] 全域的

八歸還

國際零敗す

がからの一時十分

中橋德五郎翁

二十五日逝去

三月四日

仲野嘉與作

製

餅

四

+

錢

るたちや四世が電

Joy of

旅順 仲野齒科醫院

軍用電線

者かで切り

時途に逝去し 五日午後四

参観に行きたいさ 脱つてゐる」「わしは新陳で株式標場をようにのが好で新陳が來ると 選先きに

がサンが根当に悪味を持たれる す、我々さ識つて擦乳を深り ます、我々さ識つて擦乳を深り

滿電大勝す

変更にて刻まれたる 変更にて刻まれたる 変更便り、山田二十

部屋も貸別莊も

みな契約濟み

好況の星ケ浦ヤ

ホテル

發

新

輕銀製卓上新工藝品

世界的發明!英·佛·獨特許

日本政府特許第八三六六一號

に乗つてゐるやうな心持でござ 場はこの世の地獄を乗、際けていやさうではござられ、株 こころが住職スマシタ館で 合は速の差に坐つてゐるやう

度刷の美術印刷せる卓上必需品! マートな銀色製地に卓上必需品!

すぐ解つて便利至 過去·現在。

極!

用法簡易單純一廻轉三ケ年使用)七曜表が

(題轉式

上加●刷印許特ムーユニミルア●ドイロルセ

所業營州滿社陽太曆曜七社會資合

行 洋 東 伊 等三五八七話電・三八町日龍市連大

入南條三路小名屬京中市都京 ● 社 华

神

哲

大日本策雷界の最高権威

易

寫眞技師 數名 新京日本橋通二六 光 園 社

神道

七七場

英語小野主次郎先生 英數學性 久間 謙先生 福岡市恭賀電子 實用足袋卸賣 大連市信運町市理

英數學館

京高等鐵道

大連和服裁縫組合事務所

坂下裁縫所は大連和服裁縫組合に加入し居を 値下廣告は坂下氏獨自の事にて組合に關係なる 坂下裁縫所の工賃は別として理在組合標準 工賃は値下の餘地なし 相解客様全般に對し誤解なき様勝手ながら 新組合加入員の為

和服裁縫値下廣告に付て

山本洋行

世界各國酒類。食料品 富貴 饅 大山道 頭 9 五 店

※致 に候間と the Taste 日本各地名產 返品•返金自由

蘇順無賃配達 五三

四七

シーツー

等



自

三乳

場

所

市電シテノ町落豪毛織諭下

車北入大海後看前

计美通师

夕

部たかね、

平間文器、 栢百合子一行

會

場

協

和 會 館

月廿八日午後七時半

收益は全額を函館大火救恤金に寄附 ラと

主 洲 鐵 社 員 俱 樂 部 計

好今運 機日命

再のは び盆一とは を を を を 等 な

金 三 圓

生 來る

者の絶對追從を許さず

鑑定項目

廿八日まで



満鐵監理官の使命

重役會議に努めて出席

山道氏、正今問題で

高橋藏相を問責

昨日の衆議院本會議

語しこれに反對して結局可決を見るべく、これが今議會の掉尾の一論戰さなるであちう、食物遊園間壁は午後にない、大田の一大部屋であるが、これは繁花の野歌において依然壁味不能能であるが、これは原家を可決する等だ、表議院は貢献であり、また自らの議會、報告的意味を設定して、有當政府を独立する事さなり、これな影談に興味する等だ、表議院は貢献であり、また自らの議會、報告的意味を設定して、有益の歌歌でであるが、これは原家を可決する等だ、表議院は貢献であり、また自らの議會、報告的意味を選及金銭の歌歌を上掛しる事さなり、これを影談に興味する等だ、表議院は貢献であり、また自らの議會、報告の歌歌を記述を見出し成立を見るべく、治安維持法改正表は歌談歌談歌に野する政府を認定を表して依正する事さなり、これを影談に興味する等だ、表議院は歌談歌があるの画所を持つかたはら歌友会議の歌談歌と思いて依然である事となるである。

米養鵬保法業だけは是非共成立させた主命撃を有して居る脈像上、懸後の態度を決定するものと見られる。 の法案の書き状況如何にある調であるが、之に對し政府の意味としては監視の方針通り健送選長せずこの法案の書き状況如何にある調であるが、之に對し政府の意味としては監視の方針通り健送選長せずこの、とのは、東京二十五日登園通り第六十五議会も二十五日で通常の政治はからつてこの一日にあり、進つて実に会議を施設と難話しこれに反翼して非常活動にないの。



界 未 鎗 人行要 治代喜本橋 人帽編 廢武 村本 人剛印 地番一卅阿側公東市連大

五省剿ш豫備軍

江西、熊東、福建、勝南、郷北は二十三日財命会か以て総論会 總司令任命

話

安藤氏 政府は連に中小商工 版本方針整美の意思なき留を逃べ 業振興の對策を樹つべし 乗振興の對策を樹つべし 乗振興の對策を樹つべし 乗振興の對策を樹つべし 乗城平分針整美の意思なき留を逃べ 大変 (対 中国民党) に日程整美 に日程を () なった () では、 () では

ふの貴族院

國策決議案で掉尾の論戦展開

會期延長せず終幕か

群衆數萬歡迎

一十五日致」 高粱の強金滋 紫の恋素樹は、の場めての経験に打つ満洲側より概花突く日本へ既 全く旅遊した、 この時窓には動行の一行は廿五日號九時戯え正説の カー行は廿五日號九時戯え正説の まテルに入った、この日郷様更は 一歩を取らた、この時窓には動行 の如くをの明くるを待てば、鹽飯でまた際には動育の能素が萬藤を響 りを学をやり、残をすゝつて蔵を選して、海にはランチが緩回し の如くをの明くるを待てば、鹽飯でより、海にはランチが緩回し の如くをの明くるを待てば、鹽飯では、海には、海には、水のは、大田の戦々にこだま 郷に白い光が緩れ込んで夜はや、地でして慶野、六甲の戦々にこだま 郷に白い光が緩れ込んで夜はや、

國賓待遇の

聖旨を拜し恐懼

特使のメツセージ

満洲國官吏には 壓力と熱が必要

三宅前法制局長談

春の雪頻りに降りて

止みにけり

白 雄

賜謁の光榮

の四大忠宗塔を設め、其の功線を水気にの英源を設め、其の功線を水気にの英源を設め、其の功線を水気に

愛刈将軍の思遺り

兩中将の歡送宴に

選手よ、之に備へ る山本忠東博士の活動は高く効果を取めたものゝ如く二十五日

陳東大會に滿洲國参加問題は好勢も**その實現は最早確定的**なりさ信ず、二十八日マニラ登四月三日愈紀次の如く同問題の結婚を示す入電があつた ニラは第二のロスアンゼルスなり各選手諸君よ、能く之に備へよ

出場権利あり表したが、山本博士は上海輸輸搭集の総果支那が満洲國参加に反動しても比較からは昨比島の招待で、東谷多性のためアエンカ氏のみが行くことにならうが、比島興趣はその代義に上郷では比島のおけるとことにならうが、比島興趣はその代義に上郷では

満洲崎参加が成立すれば在留日本人は満洲峨遷手に割し馬亭日本選手に割するさ同様の斡旋月に淅洲闽宛招従駅を出してゐるから満洲磯は出場権あるものさの意見である

四忠靈塔建設に

麗はしの淨財 籠る情續々集まる

|及び発支社、支局においてなず は金四十十一銭入りのドロップ赞同し、職く常商金の取扱を本 連頭日小製税六年生佐藤全子さんになり、本社も進んでこの趣意 さ金二百圓逝を寄託したほか、大 20 こさになつたが惣戦告を養表する の前に大連忠・川神峡時間の音段 これは私達官員の基金であるが 社告をみて會員中で申合せて早 工権人は本社を訪れて これは小使銭や用事をたったごうぞ忠殿塔の基金へたごうぞ忠殿塔の基金です。

で、大連船型、大連な子部型の に、大連船型、大連な子部型の で、大連船型、大連な子部型の で、大連船型、大連な子部型の で、大連船型、大連な子部型の で、大連船型、大連な子部型の で、大連ので、本年は 大半は既に決定濟

『鶴首』に酬う成功

國産ア 1

お縄を頂戴す

春から夏への御装身用品ウンと見切って 三月二十六日より二十八日迄 三 日間



DAN 明点機能 関連機能 対解中腺の日消能皮酸送波をなす での日はボの凱旋をなす西、中 変にの日はボの凱旋をなす西、中 変にの日はボの凱旋をなす西、中

集る露人の

調べにさころ出館目らしいので数: と蔵特務が不審に思ひ住所姓名な。意識も明瞭だが会事は 地でにころ出館目らしいので数: 相見好で附添の夫人も

武德會大演武會

試合プログラム決定

二十四日重役會を賜き函館市の災。全域の經常地に無はるや親日家で、東京特體二十五日孁」連載では、『ハルビン二十五日銨闽通』強能

満鐵が二萬圓

函館罹災民に

今年は惠まれた卒業生達

地々認可指令が到達

ラカボス 東線網綿 カボク綿

待望スしき最新建築用塗料 酸·耐油·耐尼力·熱·不燃性·耐水性·



は 河

大連伊セ町





請負及賣却入札

奉天都計會議

至三何三十日 自三月廿五日

御好評の岩倉特製

指パ宮庭 特別の機計

飛行機に桑る所をストツブ

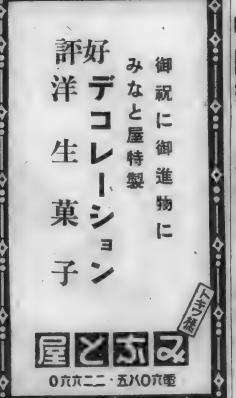




演主郎次傳內河大

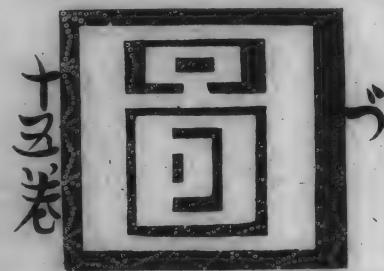
篇名の磨不

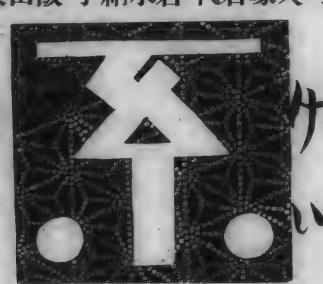


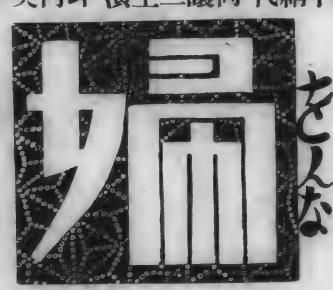


腎臓病に王蜀黍毛 二十八日 二十七日 二十五日 日本語 不楽

ーキート回一第督監亭芳村野·作原氏花鏡泉星巨の壇文治明·畵映藝文作特超期春田蒲 演 共・記書書 子禰川吉·子蝶田飯·子絹水若·代君塚大·子美內坪·演主二讓岡·代絹中田





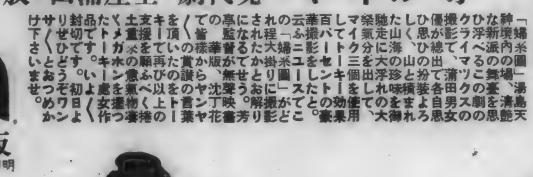


た卷繪大の麗壯華豪き無例比に他二無對絕っ放が田蒲座王の劇代現・ーキート・ルーオ



演 共・子菊岡花・耶靖賀志・明光南・耶太好東坂 ! 開展が厚奇小情人なか量経情での使相とかロいに美!物族股のリ振方久が郎太好」のものを明明 督監六哲星鋭新!色脚作原一属川柳・品作鴨下

錢拾五下階·切封日六世





臺に天下の子」 書子を驚嘆せ ・ 文豪泉鏡花氏の 名壁赫々 旧和を温





小異を固執

本院工業鐵

君(民政)多年一年に養成する

【東京二十四日登岡通】外務省で

比島獨立案に

ル大統領署名

正には不同意

案否決

船中の修聘

日

國策決議案を可決

きのふの衆達

ホテルの設備

清楚な

特使一行の時の入京を

けふ各方面に赴日挨拶

が特に派遣される響である。マ、文武百官さらのやかに出選へ

本を中傷

選舉法、決算案可決

國有關產增減機計

首相聲明

水行忠侯の報告

は本日職会教了後郷単純の形式では本日職会の所服で球が一後の連絡に、その主旨は「一九三五年の非常時を前主旨は「一九三五年の非常時を前主旨は「一九三五年の非常時を前まらばなり国がに補助を公す ブラジル問題 外相回答文

配を以て窓線する事さなつてあたり、 東京二十四日養園通 昨二十三 日来議院に於て球友中村嘉壽書よ りアラジル移民問題に願する質問 のする質問 のではている。 のではている。 ではている。 ではないる。 ではないるなないる。 ではないる。 ではない。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではない。 ではないる。 ではない。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではなない。 ではなな。 ではななな。 ではななな。 ではななな。 ではなななななななな。 ではなななななな。 た結果、海外原料品輸入の3寸り た結果、海外原料品輸入の3寸り た結果、海外原料品輸入の3寸り 大部版を行ぶ旨のは深かし決した 大部版を行ぶ旨のは深かし決した 外務省條約局第二瞬 渡過 作者ランダ公使館二等者即 渡過 外務省條約局第二瞬 渡過 外務省條約局第二瞬

外務省異動

在ベトロバクロフスク領事を大いでは、一年ベトロバクロフスク領事を大いの議論を 外務省道商局第二等

では、海外原料品輸入の全世界 に結果、海外原料品輸入の全世界 に結果、海外原料品輸入の全世界 に結果、海外原料品輸入の全世界 におりと二十三日酸議を開き原料 が移省電信課長 佐久門 の域序に二十三日酸議を開き原料 が移省電信課長 佐久門

原料品輸入の 禁止的制限 ドイツ政府閣議可決

議會終了後

開き價格九十八圖五十経、期限 日も價格九十八圖五十経、期限 日も價格九十八圖五十経、期限 になっ立前から利率四分、價 「供還期限は散費公債さ衝突せ ・供還期限は散費公債さ衝突せ の提携な贈る確應さも見られま 無の職田氏が難成漢説にかこつば 無の職田氏が難成漢説にかこつば 友會を嫌ぎらせた、

昨夜特別列車で

最報告通り には反對である

一、中画地壁楽物法中改正法律案 (政府提出質族院送附) ・ 昭和七年度歳出入穂决算同各 特別會計歳出入決算 貿易省設置要望

在地下本就是よりを買食 及び官

院修正

記會計講

意識 職権して機 共友によるようで 同動難職権的で

府をして議館後の群展に重大な無思なことに結論的に表現して歌明をことに見出し、議館の

● であり、自らの態度の映画である。 ● であり、自らの態度の映画である。 であり、自らの態度の映画である。 が、また碳友會のチレンマその優 が、また碳友會のチレンマその優

本るころなかつたことを実施した。 の神器において政策各級の態度に の神器において政策各級の態度に の神器において政策各級の態度に の神器において政策各級の態度に の機度を持しつ、総方に態度に を、民政策は側によつて不能不能 の態度を持しつ、総方に確立が のをした。 のをした。

獨立家に二十四日書名これを繋げ 大統領に乗に親院を通過した比較 がある。

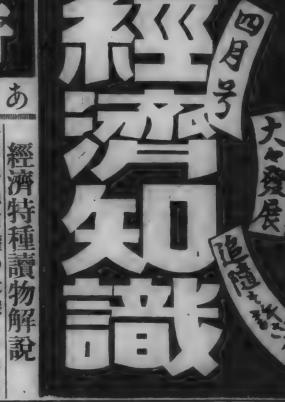
3 W

用品特別

者出

淘汰減俸の不動時代の大人国經濟政策の様

外內豐作 千島鰤之助 長二郎



人連市會委員會

豫算審議終了

高橋委員長報告起草

二十五日曜 新潟洲園 等生に黙し處医疏部大臣から談書 一大臣の紫一様に立つ 及の敷配を捜集して後、聴度が野大臣、田代瀬美 戦生中より優等生代表の答解あつ 大臣の告示、殿を披展の歌示、本 一四日午前十時より園 彼の歌い、
「本に観光されたが、
「本に観光 で、
「本に観光 で、
「本に観光 で、
「本に観光 で、
「本に観光 で、
「本に観光 で
「本に記述
「本に観光 で
「本に記述
「本に観光 で
「本に観光 で
「本に記述
「本述
「本に記述
「本に記述

とり日米報管を融減した事に支那 人士に結大な光響を融減した事に支那 人士に結大な光響を融減した事に支那

外交部の見解

が、「東京廿四日登園通」日米県間のメッセージ交換によって極東の暗 要が一振されるだらうさの新聞報

優等卒業生日本留學

日米親善强調に

那側の狼狽

ツセージ交換影響

日

玖馬に銀融通

米圖一石二鳥策 るものである

コンドンニ十三日養殖通 日本一、英間の砂糖業者はジャバ島のコート 間手 に関する まは左の知さらので感覚する まてその情で

在滿官憲の對立を緩和

マポーン等の様呼を探して戦か マポーン等の様呼を探して戦か でな影響の飛代以来呼びなせる 正際、我等の大日本帝国ノニッ

奉天新工場地帶

課稅問題折衝

支那紙論評

日滿兩當局の間に

に 大学二十三日教園通

カ英公使さ

滿洲國

人働き着の評判

八茂的 (振替八〇) 手

を一目でわかる表にしたもので、若いお母様方に非出産からお誕生までの一年間の赤ちやんの發音状態 人安心です

作つた女兄服

下天

社會名合約嘉進大

鎮高新剤

六一町成加天 *
所張出社會樂壽本日

かぜねつづつ

大日本麥酒株式會社代理店

3

ノミド 茶喫

7

時実 計用

メイフォード

八

1

ス

時標訂準

ロックストン

阴 大 訂 泰

フホックストン

帯安地で一番よく効く蛔蟲薬

さ二十七日本紙朝刊八面に聊込みの用紙に限る、清洞頭の御祓ひの文句さなります。

€

六〇五一女名名名名十

3











御入學には 標準型女學生用水兵服 **熱滿毛百貨店**分店 向婦人子供服地新着 大連市信濃町G温速町電停前) 3

> リボンシトロ **菊正宗**

日

共に弊店の誇りと する所何卒御下命 之程を御願申上ま 嶄新なる。柄 生地の優 服洋屋島 店高販製既 M場劇連大町映著 店支



大連混速町 電22283番 大連常盤橋 電22044番 沙河口仲町 電 9500番 (3)

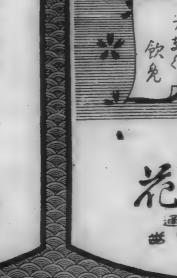




人氣焦點 北京料理 扶 銀座通条町角

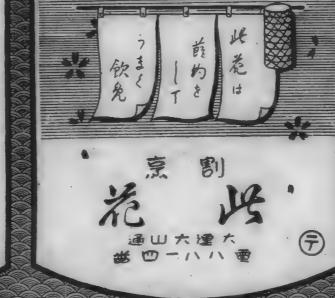
事話展での方五・五七三三 (2) サクラスタウ

)(播製鉄所割製品









匪賊に襲はる

満鐵でも承認か

天長節の佳日に舉行

RADIO

はそこ生一の氏木道 。のもるな奇数もりよ数小 誰でつよに等友質・妻匠のそ今 3 昔 0 憶 0) 伸治郎吉寬

日曜金はンームネホ かるす 職活は手達 水日 史 激 感 数 妹 對 今大歌等 果等中核医臓全 治氏の 露戦の效果阿部眞之變の前夜宮澤俊 **新ラ財**ル 聞デ界會 オ 月月月時 郎

料糖化代近の力魅と美

ピード化粧料! ニ三十秒間のス ニ三十秒間のス

タンゴドーラは するでは、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変に、 を変し、 をで、 をで、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をで



入澤宗壽

3

洋之助。 東 出 武田麟 二 苛 3

·物間小·局藥·店貨百名著

革缝制 恒喘紅 色色色色色色色

版大・京東 館本ルーメ島県社會式株 元复数本日

7

9



店支連大利辻















滿洲總代理店

(3)

油醫又河



店商又河

香O三九四·六六四四話電 3



鹿商店 16



3 曹四四八二二語電 店支連大



RCAピクター輸入元 ga 三清洋行



9





-







難を発れた第二昭生丸と船員

應接の兩代表

上海へ向け出發

断は遂に海底に消にたが

死の直前で難を免る

艦中の日本人はあやふく衝襲されんさしたが、値かに生命を取止め二十四日午前四時頃歸澤時醫権漁撈者を戦慄せしめてゐる **寄のため暗聴に乗りあげ、一様は窓に沈漂、一難は排水作業中突如百餘名の海賊の襲戦を受け御御所持品の一切を謝黙され、**

年九和

端女史を迎

函館大火の義捐金へ

本社等の共同主催で

新能して女史の蘇劇を市民能育に 実に一ダ「オペラさ民能の学」を 実に一ダ「オペラさ民能の学」を

権災人ローニセ・二八

同戸數

二六、六五七

日八十名めるが何れも株天町方面 の三層領事館があり、在留外人約

火保金支拂

ラと民謠の

さ調な感して長頭するや「よし酸」ない」 ので支那船頭が「我々は大連で

不日地支三属の代表者動議を開催 する運びになつたが目下マニラに て活躍中の欠保田代表態號のため 上緒に涨置される事さなつた前田 が、小川増雄の服を続け重大使

大津丸の泥棒 阿片窟で御用 若凱旋し何れも午後入時五十分で 午後一時五十四分には本部隊が 部

が、各職さも跳着後直に忠憲塔にない。というとは、日本の二回に京副総理由出数する

三 计 月 四

仲野嘉與作

製

of

富貴饅

頭

五

旅順 仲野歯科醫院

the Taste

餅

四ッ

+

錢

謹

告

日本各地名產

國際零敗す

グビー戦は二十五日午後一時十分國際運輸鉄済職々道部様友會のラ 對線友會戰で

實用足袋卸賣 *** 山本洋行

和服裁縫値下廣告に付て

世界各國酒類。

食料品

大山通

店

最初の觀兵式

0 6 0

板下裁縫所は大連和服裁縫組合に加入し居らず 板下裁縫所の工賃は別として理在組合標準 工賃は値下の餘地なし 工賃は値下の餘地なし 石組合加入員の為 紙上を以て御諒解願ひます

次決定

英語小野主次郎先生 英數學館數學佐久間 謙先生 顧問市城門 電光四六

新京飛行場にて擧行

各部隊は逐次後進男肚なる分列 後方に駆逐、関兵戦艦を終つた の何通過を理へ、戦艦後右側

寫眞場

實業學校卒業者一名修業年限二ケ

入連和服裁縫組合事務所

静为出土 友)

部

【季天特體二十五日間】二十五日

何者かべ切断

軍用電線

れを降いた日の趣いのが

哲

色

わらは新聞で株式相場なみる 観に行きたいさ思つてゐる」と解した新聞が楽るさ漢先きにが好で新聞が楽るさ漢先きに 易

發

輕銀製卓上新工藝品 世界的發明!英·佛·獨特許 度刷の美術印刷せる卓上必需品! すぐ解つて便利至極! 用法簡易單純一週轉過去。現在・未來の(二十三ヶ年使用)七曜表が 本政府特許第八三六六一號 七曜 (廻轉式)

大日本 0 先生來る 行 洋 東 伊 春三五八七記禮・三八町田龍市連大



力によって形々四月

三乳

返品·返金自由 シーツー 0-五0四 四人〇四丁 納 無賃配達



春の子供乗物 二一五五月 古八〇コリ

好今運 機日命 再びなしに時 市電シナノ阿滿蒙毛織前下車北入大連 娘養前 【共議師】

(t)

急ぎ來れる

骨

金三二

十九日

